



# SSH 通信

広島大学附属高等学校
Ⅱ年5組AS委員
2020年度 第1号
2020年6月25日発行

今年度でSSH(Super Science High-school)4期目も3年目に突入しました。キーワードは「SAGAs(探す)」です。

- S**cience (科学的)
- A**cademic (高度かつ専門的)
- G**lobal (国際的)
- A**utonomous (主体的・自律的)



これらの「SAGAs」を積み上げ、「Sagacity(洞察力・深い知性・先見の明)」を獲得することが目標に掲げられています。

私たちは2年生からAS(Advanced Science)コース1クラスとGS(General Science)コース4クラスに分かれ、課題研究を行います。また、SSHならではの学校設定科目も実施され、様々な知識を学んでいきます。

## 学校設定教科「SAGAs(探す)」

新・学校設定教科「SAGAs(探す)」			
第2学年より、普通科5クラスのうち、1クラスをASコース、4クラスをGSコースとする			
	AS(Advanced Science)コース	GS(General Science)コース	SSHの4つの柱
3年	AS科学探究Ⅱ(1単位)	GS総合科学探究Ⅱ(1単位)	Scientific, Academic
2年	AS科学探究Ⅰ(2単位)	GS総合科学探究Ⅰ(2単位)	Global, Academic
	AS統計科学(1単位)	GS社会と統計(1単位)	Scientific, Autonomous
1年	ASサイエンス・コミュニケーション(1単位)	GSクリティカル・コミュニケーション(1単位)	Scientific, Global, Academic, Autonomous
	総合科学(2単位)		Scientific, Academic, Autonomous

SAGAsのカリキュラムの一環として、私たち2年生のASコースでは「AS科学探究Ⅰ」と「統計科学」と「サイエンス・コミュニケーション」、GSコースでは「GS総合科学探究Ⅰ」と「社会と統計」と「クリティカル・コミュニケーション」の授業を受けています。「AS科学探究Ⅰ」では、グループに分かれて理数分野に特化した高度な研究を行います。

「統計科学」では、課題研究でも必要となる日常的な事象のデータから数学的手法を用いて数値上の性質や規則性を求める方法を学んでいます。先生の面白い話を含めて、とても興味深い授業です。

「サイエンス・コミュニケーション」では、英語科の先生とALTの先生から英語のみで授業が進められ、プレゼンテーションにおけるスピーキングの技法や文章の論理展開などを学んでいます。英語のみのコミュニケーションはまだまだ難しいですが、例えば誰にでもわかるように、専門用語を避けたり簡単な文法を使って表現することなど新しく学ぶことが多いです。

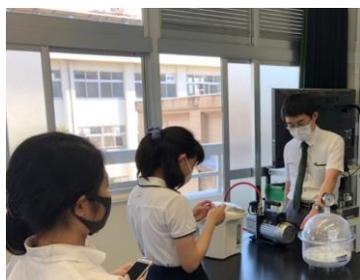
また、高Iで受ける「総合科学」では、高IIで取り組む課題研究に向けて、問題発見の仕方、研究の進め方、論文の書き方などを身に付けます。さらにFS講義で実際に研究されている研究者の方々から様々な分野の講義を受けます。課題研究を進めるうえでとても参考になります。

## 課題研究

今年はASコースの40人8チームが物理、化学、生物、数学のテーマに分かれて課題研究を始めました。ただ、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大によって、課題研究の予定にも大幅な影響が出ています。例年ならすでに「先端研究実習」が行われていたはずですが、今年は最初の先端研究実習が8月4日になりそうです。これから随時先端研究実習の様子をお伝えしていきます。また、本来なら3月中にテーマを確定させ実験の仕方などの研究の流れを相談して、4・5月には本格的に研究をスタートさせていくはずでした。しかし、長期間の休校があり3・4・5月にほとんど活動することができず、6月になってやっと研究が進められるようになりました。今はテーマが決まり、それに沿ってどんな実験をどのようにすればいいか、どうすれば面白くしていけるか、残りの約1年半という期間でなにができるか、などいろいろなことを考えながら実験を試みているところです。これからたくさんの実験を積み重ね、その結果や考察を通して検証していきます。途中で失敗しても諦めず、粘り強く取り組んでいきたいと思えます。

次号からは、この休校中に行った「お家で課研」の紹介をしていきます。さまざま先行研究をまとめているので楽しみにしててください。

### 〈研究の様子〉



化学班の実験



物理班の実験



実験ノートの記入

## 編集後記

今回は、ASコースの活動内容の紹介がメインとなりましたが、GSコースも課題研究を行っています。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、予定されていた韓国やタイなど海外の学校との交流がどの程度行えるのかわかりません。例年と違う状況に見まわれましたが、研究の成果を校外外で発表する機会に向けてこれからも頑張っていきたいです。  
(担当：II年5組AS委員)